この度は，論文”Influence of Dissolved Hydrogen Concentration on the Protective Property of Oxide Film of Alloy 600 Against Primary Water Stress Corrosion Cracking”（「600 合金の酸化皮膜性状と PWSCC 発生感受性に及ぼす溶存水素濃度の影響」）に係る業績で 2022 年水化学部会賞（奨励賞）に選出頂き，誠にありがとうございます。

本論文は，PWR 一次冷却水の溶存水素濃度を現行水質に対して低下させることで PWSCC（一次冷却水中での応力腐食割れ）発生が抑制されるメカニズムを調べたもので，論文誌 Corrosion 78 号に掲載されました。原子力発電所の運転期間延長等に伴って材料の経時劣化対策の重要性が増している状況のなかで，本成果は PWR 一次系の主要機器に多く使用される Ni 基合金の経時劣化対策に資する水化学（低溶存水素化）の根拠データを示すものと考えています。

今後 水化学の側面から原子力の安全性の維持・向上に貢献できるように精進して参りますので，今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

三菱重工業株式会社 総合研究所 垣谷 健太